

とちぎ女性活躍応援団事業【栃木県】

総事業費	1,173 千円
交付金額	586 千円

地域の実情と課題

- 男性雇用者の非正規雇用者の割合20.4%に対し、女性雇用者の非正規雇用者割合は55.9%
- 所定外労働時間全国平均110時間に対して115時間
- 女性の有業率において、正規雇用労働者の比率が20代前半をピークに低下を続ける「L字カーブ」現象
- 育児休業制度整備率86.8%に対し、男性育児休業取得率28.7%

目的・目標

- オール栃木体制で、活躍する(したい)女性を支援する。
- ・とちぎ女性活躍応援団登録企業等数 1,416 (目標1,344)
 - ・男女生き生き企業認定企業数 304 (目標220)
 - ・男性の育児休業取得率 28.7% (目標12.0%)
 - ・女性の就業率 35.1% (目標33.5%)
 - ・市町村推進計画(女活法)策定状況 96.0% (目標92.0%)
 - ・市町村の男女共同参画計画策定状況 96.0% (目標100.0%)

事業の特徴

- オール栃木体制で女性活躍を含む働き方改革に取り組むため、官民連携による「とちぎ女性活躍応援団」の運営
- 女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」で、企業や活躍する(したい)女性等に、取り組むきっかけとなる情報を一元的に提供

連携団体

【連携体制】
とちぎ女性活躍応援団

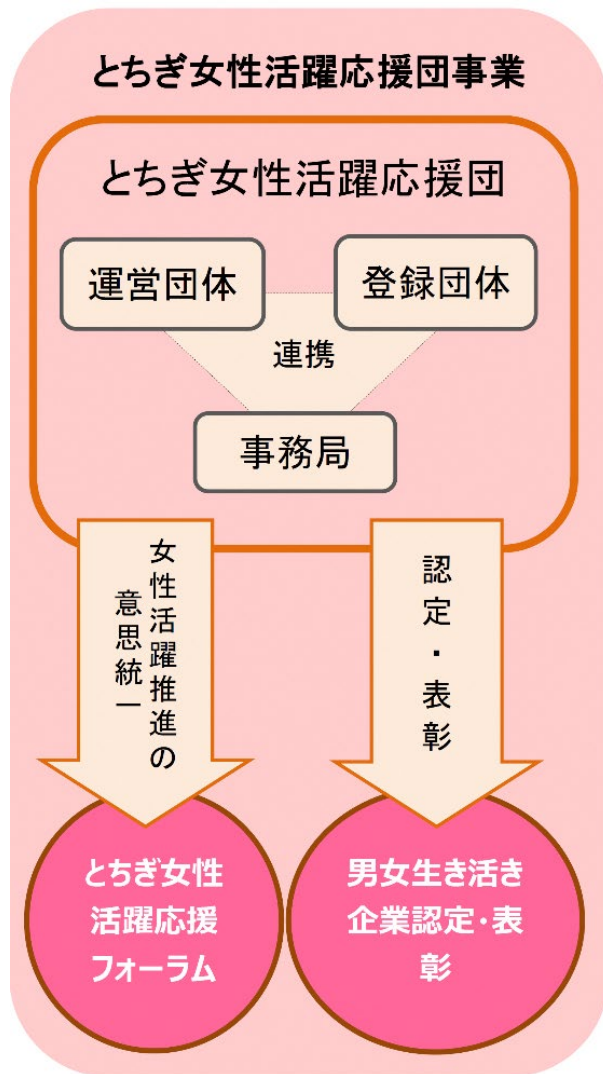
【構成団体】
登録企業(R5末:1,416団体)
運営団体(栃木県経営者協会、栃木県経済同友会、栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会栃木県連合会、栃木県医師会、栃木県看護協会、栃木県社会福祉協議会、栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業者懇談会、栃木県林業振興協会、栃木県建設産業団体連合会、栃木県トラック協会、栃木県自治会連合会、栃木県女性団体連絡協議会、大学コンソーシアムとちぎ、足利銀行、栃木銀行、下野新聞社、日本放送協会 宇都宮放送局、栃木労働局、栃木県、栃木県市長会、栃木県町村会、とちぎ男女共同参画財団)

事業の効果

- 「とちぎ女性活躍応援団」の登録企業数を伸ばすなど、女性活躍の機運醸成につながった。
- 男女生き生き企業認定・表彰事業により、企業が女性活躍や働き方見直しに取り組むきっかけを作ることができた。

今後の課題

- 「男女生き生き企業」認定・表彰制度について、より幅広い事業者に参画いただけるよう、機会を捉えてより一層の事業の周知に取り組むほか、女性活躍応援専用サイト等による認定企業や表彰企業の取組事例の周知にも引き続き取り組んでいく必要がある。
- より多くの市町が働く女性の活躍支援に関する取組を展開するよう、当交付金の活用や県や既に取り組んでいる市町主催の事業のPR等を効果的に推進する必要がある。



とちぎのすべての女性のための活躍応援ナビ
TOCHIGI WOMAN NAVI

One-up! WOMAN とちぎ女性活躍応援フォーラム 2023
多様性の力でより良い社会へ

令和5 (2023) 年
12月25日 (月)
14:00~16:00 (開場13:30)

対象: どなたでも参加いただけます
会場: 栃木県庁研修館講堂 (宇都宮市橘田1-1-20)

■参加費無料
■定員: 100名 (先着順)
■申込締切: 12/15 (金)
※申込方法等については裏面をご覧ください。

【第1部】表彰式
「男女生き活き企業」表彰式
女性の活躍推進に貢献する優れた取組を行っている企業を表彰します。

【第2部】事例発表
「我が社における女性活躍推進・働き方改革
～男女共に輝く職場を目指して～」
「男女生き活き企業」表彰企業が自社の優れた取組や成果等について発表します。

【第3部】講演
「多様性の力でより良い社会へ
～資生堂の女性活躍～」

講師: 山本 真希氏

株式会社 資生堂
ダイバーシティ&インクルージョン戦略推進部
グループマネージャー

10年以上の営業・マーケティング業務を経て、人事部門にて人材育成/トレーニング業務を担当。
2015年より近畿エリア社員の人事業務全般に携わり、2021年、営業現場における女性活躍推進プロジェクトをリード。
2022年1月より総務部門にて、女性活躍推進の推進と就業率の向上に取り組む。

主催 栃木県・とちぎ女性活躍応援団 後援 とちぎ公務員協会連合会

- ◆応援団登録数 1,416団体
- ◆男女生き活き企業認定数 304社
- ◆とちぎ女性活躍応援フォーラム
⇒表彰企業事例発表、講演

専用サイト“とちぎウーマンナビ”で情報発信